



宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力による航空技術連携講座の設置について

概要

九州大学は、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力を得て、工学研究院及び工学府に平成 22 年 4 月から航空技術連携講座を設置し、連携講座による教育と研究を開始します。連携講座においては、技術革新が期待されている航空技術の 3 分野、飛行システム技術・風洞試験技術・複合材構造技術で活躍する JAXA の 3 人の研究者を招聘し、大学院生の研究指導、特別講義、JAXA での実習等を行います。連携講座により教育の充実と研究の活性化をはかり、将来ニーズに対応した革新的な研究成果の創出と人材育成をめざします。

■背景

九州大学と独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、平成 21 年 8 月 20 日に連携協力協定を締結し、あらゆる分野において協力を進めることとしましたが、このたび航空技術の分野において、九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門及び工学府航空宇宙工学専攻に連携講座を発足させ、相互に連携協力を行うこととしました。連携講座による協力の背景には以下のような国内外の情勢があります。

国際社会の経済発展とグローバル化により、航空輸送は規模の拡大が続き、航空機の製造・運航は成長産業の一つとして期待されています。その背景には技術革新による安全性・経済性・環境適合性・利便性などの向上があり、それらは国際的な共同開発と技術競争によって生み出されています。我が国は米国ボーイング社と 787 型旅客機を共同で開発し、国産の小型旅客機（三菱 MRJ）の開発も進めています。これらの開発において複合材技術など世界に通用する先進技術が重要な役割を果たしていますが、その他にも空力技術、IT 応用による飛行システム技術など国際競争力をもった技術の研究開発が今後ますます重要となります。

JAXA 研究開発本部は航空の先進技術の研究を積極的に進め、我が国の産官学連携の要となっています。九州大学もその一翼を担うべく人材育成と先進技術研究を進めています。

■内容

連携講座においては、技術革新が期待されている航空技術の 3 分野、飛行システム技術・風洞試験技術・複合材構造技術で活躍する JAXA 研究開発本部の研究員を客員教授あるいは客員准教授として招聘し、以下のことを実施します。

・大学院生の研究指導

JAXA の客員教員は九州大学の教員と協力して連携研究テーマを設定し、大学院生の指導を行います。飛行システム技術においては無人機の先進飛行制御の研究指導、風洞試験技術においては機体から発生する空力騒音の計測と解析の研究指導、複合材構造技術においては複合材航空機構造の損傷許容性評価技術の研究指導を行う予定です。

・特別講義

JAXA の客員教員は「宇宙航空研究開発特別講義」において集中講義形式で講義を行い、それぞれの専門分野の研究あるいは開発を紹介します。

・JAXA での実習

大学院生が JAXA の大型試験設備を使った試験研究等に短期間参加し、JAXA での研究開発を経験します。

■効果

JAXA で活躍する研究員を招聘することによって、より一層の教育の充実と研究の活性化が期待されます。さらに、九州大学の基礎的な研究と JAXA のプロジェクトに対応した研究が融合することによって、大学院生ばかりでなく教員も含めて開発現場における課題に対する理解を深め、新たな技術革新の創出

につながることを期待されます。

■今後の展開

連携講座の成果は九州大学と JAXA との間で定期的を開催する連絡協議会において報告し、内容を充実させていきます。連携講座の設置期間は5年間ですが、継続することも視野に入れています。

【お問い合わせ】

大学院工学研究院教授 宮沢 与和
電話：092-802-3042
FAX：092-802-3001
Mail：miyazawa@aero.kyushu-u.ac.jp